



Donostia
San Sebastián

ドノスティア/ サン・ セバスティアン



ongi etorri *

潮は満ち引き、そしてまた満ちる。海は時に悠然と佇み、また時に驚くようなエネルギーをもってその波を橋や遊歩道に打ちつける。

ドノスティア/サン・セバスティアンはいつも海とともにある街。カンタブリアの気まぐれな波とこの町の住人18万6千人が日常を分かち合う。

常に進化を続け、世界最高と評されるガストロノミックレストラン、そしてピンチョスがずらりと並ぶ人気のバルまで、世界の人々を魅了してやまない食。

毎年違った魅力でせまるシネマルディア=国際映画祭や数々の音楽祭、その出展作品や奏でられる名曲の数々。

そのすべてがこのドノスティア/サン・セバスティアンの魅力であり、波のように打ち寄せ、そして人々と交じり合う。その波によってこの町は雰囲気やその姿さえも変える。そして、訪れる人それぞれの見方や経験でまたその印象を変えるのだ。あなたも一緒にこの波を感じてほしい。ようこそ、サン・セバスティアンへ。

* ようこそ

1ユーロ (税込み)

発行:サンセバスティアン観光局
Donostia San Sebastián Turismoa

Boulevard, 8.
(+34) 943 48 11 66.
sansebastianturismoa@donostia.eus
www.sansebastianturismoa.eus
www.sansebastianholidays.com/jp/

製作: ACC

テキスト:
Alejandro Fernández Aldasoro
Mikel G. Gurpegui
Gontzal Largo

第2版: 2019年7月
D.L.: SS 1408-2017

本書に掲載されているテキスト及び画像等は著作権法及び知的財産権に関する法律及び条約で保護されています。当社の合意なく無断で使用することは法律で禁止されています。

2019年7月改訂
ここにある情報は予告なく変更される可能性があります。

p. 4_23

サン・セバスティアン

サービス及びツアー

歴史概略

自由に楽しむ

ビーチ及び公園

p. 24_53

サン・セバスティアン を楽しむ

食を楽しむ

文化を楽しむ

p. 54_55

インフォメーション

市内地図

サービス及び観光ツアー

もっと知ればもっと好きになれる。そのために観光案内所では、町の最新の情報、宿泊施設の予約、サン・セバスティアンをより楽しむための様々なアクティビティの紹介など、あなたの目的に合わせたサービスを提供しています。

そ、要、ま、を、た、め、い、光、さ、な、
時、必、泊、が、何、た、。観、だ、と、
た、れ、に、る、は、い、か、い、る、く、べ、
い、入、ど、事、め、な、ら、い、に、ん、し、
着、に、ね、食、た、ら、な、な、心、連、ち、
街、に、手、す、で、む、な、に、れ、中、を、み、
い、報、ま、ど、楽、れ、迷、う、町、へ、達、う、
な、情、り、限、け、に、ど、も、所、私、し、
知、の、あ、か、大、な、単、は、で、内、。ま、
知、こ、が、る、最、し、だ、に、つ、案、い、り、



サン・セバスティアン観光案内所

セントラルオフィス
Boulevard, 8

駅・バスターミナル横
オフィス

Paseo Federico García Lorca, 1

夏季限定オフィス
Plaza Cervantes



**Donostia
San Sebastián**

(+34) 943 48 11 66
www.sansebastianturismoa.eus

オフィスの営業時間についてはウェブページを参照ください。

しなくちゃいけない10のこと



ラ・コンチャ:ビーチの女王。

唯一無二のこの風景、これぞサン・セバスティアンの自慢、カンタブリア海の実珠といわれています。古き良き時代ベル・エポックの面影を残す場所の一つ、タラソテラピー施設 L'APERLA でリラックスしませんか？そして、そこから冬であっても目の前のラ・コンチャビーチへ入ってみてください。_17



サン・セバスティアンらしいところ？それは旧市街にあります。

旧市街はこの町の本物にあえる場所、この小さな地区にゴシック教会やバロック教会、昔は闘牛の興行につかわれていた広場（だから窓に番号が入っているんですよ。）まで。暮盤の目状の小さな通りはいつもにぎやかですし、市場では baserritarras（農家のおばさん）が町一番の野菜を売っています。

_10



ベル・エポック時代の建築物

20世紀のはじめ、サン・セバスティアンがヨーロッパでもっとも刺激的な町だったことをいまでもバリ風の建物が並ぶロマンチック地区が物語っています。大聖堂の前の回廊やギブスコア広場、マリア・クリスティーナホテルなどの建築物を楽しんでみてください。_12



ピンチョス

ピンチョスという一口サイズの醍醐味を楽しむ場所は町中にたくさん。旧市街はその中心地、昔ながらのバルからイマドキのお店までいろいろ。グロス地区は若々しい雰囲気、地元民も集います。一方、セントロ地区やアンティグオ地区は落ち着いていて親しみのある雰囲気。もし食べるだけでは物足りないなら、料理教室に参加するのはいかが？正真正銘サン・セバスティアン仕込みのシェフになれるですよ。_29



港へ向かう

サン・セバスティアンの港を捕鯨船の漁師など数えきれない風をくぐりぬけてきた強者たちがその住処としてきました。そんな歴史が垣間見れるのが海洋博物館と水族館、両方とも港にあります。こちらでサン・セバスティアンの奥深い海洋歴史にどっぷりつかってみたいはいかがですか？_11



海沿い1時間くらいの散歩コース

サグエスからエル・ペイネ・デル・ビエントまで、ウルグル山をぐるりと囲むパセオ・ヌエボを通過して6kmの海岸沿いに行く散歩コースがあります。常に海を感じるこの散歩道、その道中にバスクを代表する彫刻家であるチジダ、オティサやバステレチエーアの作品と出会えます。ジョギングにも最高のコースです。_14

それぞれのビーチでスポーツを楽しんで！

三つのビーチ、三つのスタイル。サーファーはスリオーラへ、カヌーやスタンドアップパドルボードなどはラ・コンチャへ、泳ぎたい人はオンダレッタへ、というのもここからはサンタ・クララ島まで泳いでいくことが一番距離が近いので泳いでいくこともできます。もちろん船で行けるので島のきめ細かい砂浜でリラックスするのもよいでしょう。

_16



メイド・イン・サンセバスチャン

訪れた町の思い出を、チョコリーやパンチネッタ、イディアサバルチーズとして残すのもいい考えですが、この町にある数々のブティックで手に入れたものをプレゼントにしたり、メイド・イン・サンセバスチャンとしてサーフボードを手に入れるのもいいですね。この町で作られたとおきのものをいろいろみつけてください。



バスクの国、バスクの民を知る！

サン・テルモミュージアムでバスク文化に触れませんか？欧州で一番古いといわれるバスク語の秘密にせまりましょう。回廊を擁するドミニコ派修道院だった建物は近年拡張され、その部分は前衛建築物として国際的にも評価されています。_44



サンセバスチャンの絶景スポット

イゲルド、ウルグル、ウリアと、サン・セバスティアンに三つある山、どれも徒歩で登るのにちょうどいい高さです。三つとも素晴らしい眺望がありますが、イゲルドはフニクラと100年の歴史を誇る遊園地、ウルグルはロマンティック様式の墓地、ウリアは切り立つ海岸線とそれぞれ三者三様に楽しめます。



歴史概略

ナバラ王"賢王"サンチヨについて ナバラ王国はカンタブリア海岸に港を持つため、1180年にサン・セバスティアンに自治権を与えた。これをもってサン・セバスティアンという町が誕生したとされる。こうして、昔から行われていた捕鯨、鱈漁と、海運とが両立されることとなる。

フランスと隣接しサンティアゴの巡礼路上に位置することがこの小さな海沿いの町の発展を後押しした。しかし同時に、戦時中は戦略的な場所として位置づけられ、12世紀にはその要塞化がすすんだ。何世紀にも渡り、数々の攻撃に悩まされたが、1719年にいたるまで市民は敵からこの町を守ってきた。しかし、その後開城を余儀なくされ、2年間にわたり、フランスの手にわたることとなる。1794年、町は再びフランスによる包囲の前に屈し、1813年に英国・ポルトガル軍により"解放"されるまでそれは続いた。火がはなたれ、略奪が横行し、一夜にして町は瓦礫の山と化した。焼け残った家の土台からサンセバスチャン市民は今日みられる旧市街の形へと復興を成し遂げたのだった。

その後平和な時代が訪れる。イサベル2世が医者への勧めのもと、皮膚の病を和らげるための海水浴地としてサン・セバスティアンへやって来て以来、この地での保養はブ

海がもたらしたもの

海はまず、時化の波を避けて、ウルグル山がつくる入り江に逃げ込んだ漁師たちをつれてきた。そして、後にこの町に自治権を与えるナバラ王サンチヨ、戦争があるたびにここを蹂躪していく軍隊。皮膚の病を抱える王妃を、そしてその後の保養地ブームを引き寄せたのも海である。海が現在の文化面、経済面、観光面での力をここサン・セバスティアンにもたらしたものである。



ームとなる。1845年ごろには夏の間マドリッドの宮廷、そしてそれを取りまく貴族達が集うようになったため、この町は避暑地の宮廷として名声をえることとなり、発展を続け、さらには街は拡張を迫られることとなる。これによって1864年に城壁は取り壊され、都市開発がすすめられ、これが現在のセントロ口地区となる。20世紀初頭にはヨーロッパの上流階級のお気に入りの避暑地となり、サン・セ

バスティアンに"ベル・エボック"が訪れる。マリア・クリスティーナ妃はミラマール宮殿で夏を過ごすことにし、それ以降、次々と豪華なホテル、カジノ、劇場などが建てられていった。

第一次世界大戦中はヨーロッパの富豪たちがこへ身を寄せた。この町の街並みにフランス調の名残があるのは彼らが与えた影響によるものである。

1936年に起こった市民戦争後の急激な工業化によって、都市計画的に誤りのある暗い時代がきた。しかし、20世紀後半サン・セバスティアンはその経済力、文化、観光の強化に注力し、新たな事業を押し進めると同時に自然遺産、歴史遺産を保護しながら、今日我々の知る伝統と近代化の共存する洗練された街へと姿を変えるに至った。

当時のロイヤルファミリーはサン・セバスティアンを避暑の地としてえらびました。写真は1920年ラコンチャビーチにてアルフォンソ13世がハイメそしてアルフォンソ両皇太子を伴って、ボートに乗っている様子。

歴史の重要事項の年表

1180年
ナバラ王サンチヨがサン・セバスティアンに自治権を与える。町の発足。

1450年
商業港の建設。

1597年
ペスト(黒死病)の流行。感染者はサンタ・クララ島で治療。

1662年
フェリペ4世により町に称号が与えられる。

1719-1721年
フランス軍によるサン・セバスティアン占領。

1813年
英国・ポルトガル連合軍により町は焼かれ、破壊されながらも"解放"。

1845年
イサベル2世によりコンチャ海岸がブームに。

1864年
町の城壁取り壊し。

1888年
ブエン・パストール教会着工。1897年完成、その後、1953年に大聖堂となる。

1893年
マリア・クリスティーナ妃がミラマール宮殿を夏の保養地とする。

1912年
イゲルド山のフニクラ(ケーブルカー)、ピクトリア・エウヘニア劇場、マリア・クリスティーナホテルがオープン。

1953年
第1回サン・セバスティアン国際映画祭開催。

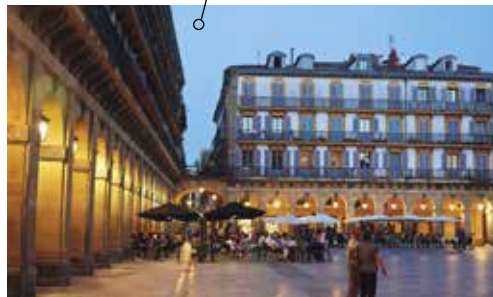
① 旧市街

ブレチャ広場[1]から旧市街へと入っていきましょう。この名前は1813年にスペイン独立戦争時、ウェリントン公爵率いる英国軍がフランス軍が進駐する城内へと進入した場所に由来します。現在は昔ながらの市場としての形も残しながら、商業レジャー施設へと姿を変えました。



旧市街へ入ると、路地は活気に満ち、人々が絶え間なく往来しています。日が沈む頃、バル、レストランは人で溢れていることでしょう。フェルミン・カルベトン通り[2]がバル巡りの中心です。

旧市街の中心、憲法広場[3]。この町で行われる様々な祭りのメイン会場となります。バルコニーに振られた数字はかつてここが闘牛場として使われていたことの名残です。サン・ヘロニモ通りを抜けると、1813年の戦火の後唯一残った8月31日通り[4]に着きます。バスク伝統競技であるペロタの競技場やその観客席、コンサートなどにも利用されるトリニダ広場が通りの奥に隠れています。



憲法広場



8月31日通りの一方には、16世紀前半に建設されたサン・セバスティアンで最も古いサン・ピセンテ教会[5]、もう一方にはサンタ・マリア教会[6]があります。中に入ってビルヘン・デ・コロやエドゥアルド・チリーダ作の十字架を見るのも良いでしょう。または教会前の階段に腰を下ろし、マジョール通りを眺めるのも良いかもしれません。ここで少し豆知識:このサンタ・マリア教会から正面突き当りに見えるブエン・パストール大聖堂までは、直線距離でちょうど1kmあります。



バセオ・デ・ロス・クエラスからの眺望

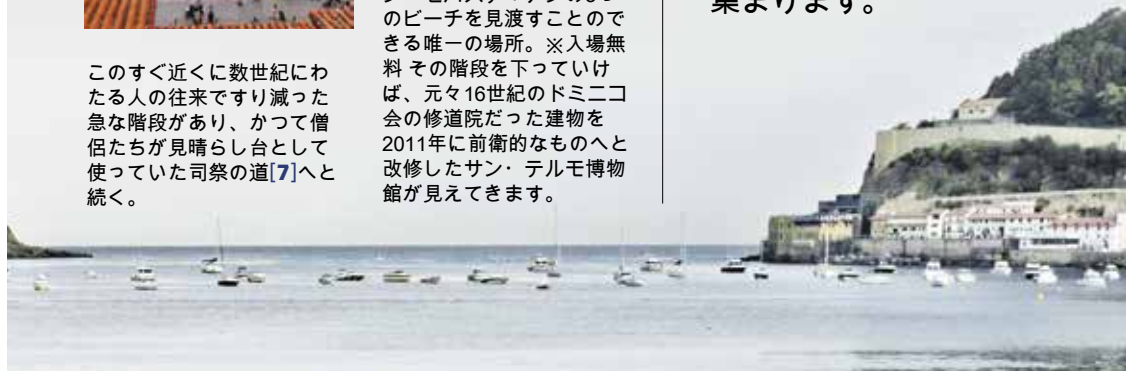


このすぐ近くに数世紀にわたる人の往来ですり減った急な階段があり、かつて僧侶たちが見晴らし台として使っていた司祭の道[7]へと続く。

ウルグル山の頂上には12世紀に築かれ、町の守備の基盤となったラ・モラ城があります。頂上にあるイエス・キリスト像[8]からはサン・セバスティアンの3つのビーチを見渡すことのできる唯一の場所。※入場無料 その階段を下っていけば、元々16世紀のドミニコ会の修道院だった建物を2011年に前衛的なものへと改修したサン・テルモ博物館が見えてきます。

ラ・ブレチャ市場からウルグル山へ

サン・セバスティアンがまだ細長い半島状態で海岸へつつきだしていた頃、ウルグル山のふもとには、強い雨風をふせぐように漁師達の家が立ち並んでいました。そして、現在の旧市街はただ単にその地区が昔のまま残っただけのものではなく、数えきれないくらいのバルやレストラン、美食倶楽部などが集まり、市民生活の中心となっています。まさにサン・セバスティアンであり、もっともサン・セバスティアンらしい。そのすべてがここに集まります。



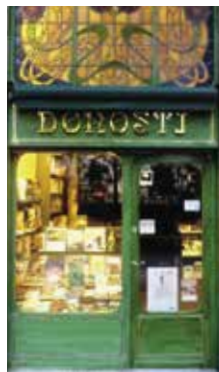
② ロマンチックエリア



アルベルティ・エデルのメリーゴーランド

ブレバル通り[1]は旧市街と、城壁の取り壊しによって拡張された新市街との境界線と言えるでしょう。ここは歩行者専用となっていて、散歩を楽しむ人であふれます。

野外音楽堂[2]とスペインで最も美しいと建造物のひとつとも言われる市庁舎[3]が目に入ってくるでしょう。当時カジノだった市庁舎の大広間では当時舞踏会がひらかれていました。また、市庁舎の前にはがわった姿が印象的なタマリンの木々とメリーゴーランドのある「アルベルティ・エデル(美しい場所)」と名付けられた庭園が広がります。



ビルバオ広場の本屋

ブレバルの時計は野外音楽堂と共に、カップルの、友達、仲間達との...世代を飛び越え待ち合わせの場所となりました。もし時計の長針が12の数字を指す時、この辺りを通ることがあれば、きっとそこには時計を眺めながら遅刻している相手等待つの姿を見ることができるよう。

そこから2ブロック行けば、ギブスコア広場[4]があります。19世紀末に建造されたサン・セバスティアンで最も古い、曲線を描く歩道、特徴的な庭園の装飾など、ロマン派的な造りの公園です。



市庁舎



ギブスコア広場からチュルカ通り、ゲタリア通りを進むとビルバオ広場[5]へと辿り着きます。

また、ギブスコア広場から川の方へ抜けて行くと、マリア・クリスティーナホテル[6]とビクトリア・エウヘニア劇場[7]、この歴史を共に歩んできた2つの建物が現れます。マタ・ハリからジョン・マルコヴィッチまでが、その新プラテレスコ様式ファサードを賞賛し、2012年に100周年を迎えたこのホテルに漂う豪華さに惚れ込みました。

ホテルと劇場の間にはオケンド提督の記念像が建っています。サン・セバスティアンが生んだ老齢の海軍大將はこの街で最も古い橋サンタ・カタリーナ橋[8]の方に今でも視線をむけています。



ロマンチック様式ファサード

フランシア通り[9]では、そのフランス調の威厳のある邸宅の並ぶ景色に驚かされるでしょう。この通りには北駅(RENFE/国鉄駅)があります。この駅の発着場はエッフェルの弟子であるピアレスによってつくられました。その反対側には美しいクリスティーナ・エネア公園[11]が広がります。川の反対側へと戻るには、サン・セバスティアンで最も美しいもののひとつであるマリア・クリスティーナ橋を渡ると良いでしょう。ビルバオ広場へと続きます。ここからブエン・パストール大聖堂[12]は目と鼻の先です。洗練されたショップ、小さな本屋、ピンチョスの並ぶバル...。ロマンチックエリアの中心部です。

ブレバル通りから クリスティーナ・ エネア公園まで

ロマンチックエリアはかつて町を守っていた城壁を取り壊して19世紀後半に計画されたコルタサル新開発地区として発展しました。街の通りは、砂色の建物、そしてその美しい門構えなど整然としたたたずまいです。街の作りはフランス調の趣があり、非常に優雅な印象をあたえます。



ウルメア川

③ 海岸線エリア



レアルヨットクラブ

モンパス岬[1]、この町の端にあたります。いい波が来るスポットでそれを求めてサーファー集まる場所でもあり、年中天候に関係なく人が集まります。波は疲れを知ることなく寄せては引き、ここに集うサーファー達も同様のようです。



スリオラ遊歩道[2]はクルサル国際会議場・公会堂[3]までグロス地区の海岸線を縁取ります。

建築家ラファエル・モネオによって、浜辺に鎮座する2つの岩として生み出されたこの建物、サン・セバスティアン国際映画祭に招待された映画スター達はこの大きな"岩"をバッグに写真におさめます。



空虚の構造

スリオラ橋を渡り、ウルグル山を縁取るヌエボ通り[5]へと続きます。悪天候時には強烈な波が遊歩道まで及ぶので通行止めになることもしばしばです。海に沿ってゆけば、ホルヘ・オティサの作品「空虚な構造」[6]に着きます。



スリオラ橋[4]はウルメア川にかかる最初の橋。まさにサン・セバスティアンと波のうねりの戦いの最前線とも言えるでしょう。橋脚によって波は砕け、橋の下を抜け波は川上へと入り込みます。そのモダンな橋の街灯に美しい波しづきを散らせながら。

突き当たりにはかつてのカジノ、現在の市庁舎[7]、波止場に接岸する船をイメージした合理主義の作品である、ヨット倶楽部[8]が見えてくるでしょう。棧橋に腰を下ろし、足元に海を感じるのも良いかもしれません。



スリオラ橋をわたるサーファー

ラ・コンチャの遊歩道から、かつてマリア・クリスティーナ妃が夏の保養地として利用したミラマール宮殿[12]へ行くことができます。西側の門から出れば、アンティグオ地区です。名称はこの町で最初に人が住み始めたことに由来しています。

コンチャ海岸の中ほどにラ・ペルラ・タラソ・スポーツセンター[9]があります。かつて世界で最も重要な湯治場のひとつでした。歩を進めると、チリーダの作品のフレイミング記念像[10]が見えてきます。散歩の休憩をしながらサンタ・クララ島[11]を眺めるのは最高の場所でしょう。

オンドレタ海岸庭園にはマリア・クリスティーナ妃を記念した像が立っています。さらにすすむと、サン・セバスティアンのシンボルであり、最も美しい場所のひとつ「風の櫛」があります。建築家ルイス・ペーニャ・ガンチエギと彫刻家エドゥアルド・チリーダの作品で、オブジェが風景に溶け込み、天気や季節によって違った顔をみせる、まさに唯一無二の空間といえるでしょう。

モンパスから「風の櫛」まで

成人男性の平均歩行速度は6km/時です。計算は簡単でしょう。高低差もなく、車も通らず、唯のひとつの信号もないサン・セバスティアンの海岸線コースは約6kmです。サン・セバスティアンの海岸線を3つのビーチ、特徴的な地層、街の景観を楽しむのに約1時間かかります。歩き続ける必要はありません。時々立ち止まりながら、休憩しながら。



あなたの訪れを待つ海辺

それぞれ違う表情を持つ4つのビーチ

6kmに及ぶカンタブリア海に面する散歩コースは3つのビーチを繋ぎます。もうひとつは、バスク州で唯一南に向いたビーチ。ここへは渡し舟、もしくは泳いで行くことができます。



1.

1 ラ・コンチャ

ビーチの女王

彼女はこのラ・コンチャへと来ることとなりました。午前一番、ベルリン馬車に乗って現れ、波打ち際まで2頭の牛に引かせた設置した小屋で過ごしていました。その後、この海水浴へ行くということが新たなブームとなり、王女をはじめ上流貴族なども宮廷からやってくるようになりました。こういったことが優雅さ、気品をサン・セバスティアンに与える要因となりました。さらにその後、カンタブリアの真珠という呼称、観光客、世界で最も美しいビーチリゾート都市として世に知られる事になるのです。

1845年、イサベル2世が皮膚に問題を抱えていたとき、医者が海水浴を勧めました。そうして、

今日、たくさんの観光客がこの町のシンボルと知られる白い欄干にもたれて、左右からイゲルド山そしてウルグル山の両腕に抱かれ、サンタ・クララ島という真珠を飾るこのなんとも美しい湾を眺めています。

街のイメージをビーチを背景に写真に収めれば、テラス席に腰を掛け、その眺めを楽しむ。

我慢できなければ、浜辺へおりて1,300mを越えるそのビーチを裸足で歩くのも良いでしょう。

海へと入り、髀まで泳ぎ、腰を掛け日を浴びながら、かつて王妃も過ごした気品漂うビーチを王になったような目線で眺めてみるのも良いかもしれません。

満潮時、砂浜はほぼ見えなくなり、波は遊歩道の足元まで打ちつけ、街に飛沫を散らします。干潮時には、およそ40mものビーチが青い「シーツ」からその姿を露にします。





グロス地区ではサーフボードを持ち裸足で信号待ちをするサーファー達を見かけるでしょう。

おそらくカンタブリア海沿いにある海岸の中で最もサーフィンが盛んなビーチでしょう。絶え間なく波は立ち、どんな潮の時も波に乗ることができます。

街の最東端、サグエスの欄干から、サーファー達の姿に目をやれば、それはまるでサーフィン映画祭の映画のワンシーンの中にいるかのような感覚に陥ることでしょう。サーフィンにそんなに興味が湧かなかったとしても、そこに腰かけ目の前に広がる街を一望できる素晴らしい景色が楽しめます。特に夕景は殊に思いに残ることでしょう。



ちょっと上をいくショッピングやお食事を楽しむグロス地区の飲食店やお店の質、サービスもスリオリビーチの波の高さに負けず劣らず素晴らしく、ドノステアで人気のピンチョスバルがいくつもこのエリアにあります。同様に、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中でカクテルを楽しんだり、お菓子屋さんの誘惑と戦うのも良いでしょう。サーフショップ、洋服、おみやげと個性的なお店がいくつもあります。きっと気に入るものを見つかることができるのではないのでしょうか。

2.

スリオラ

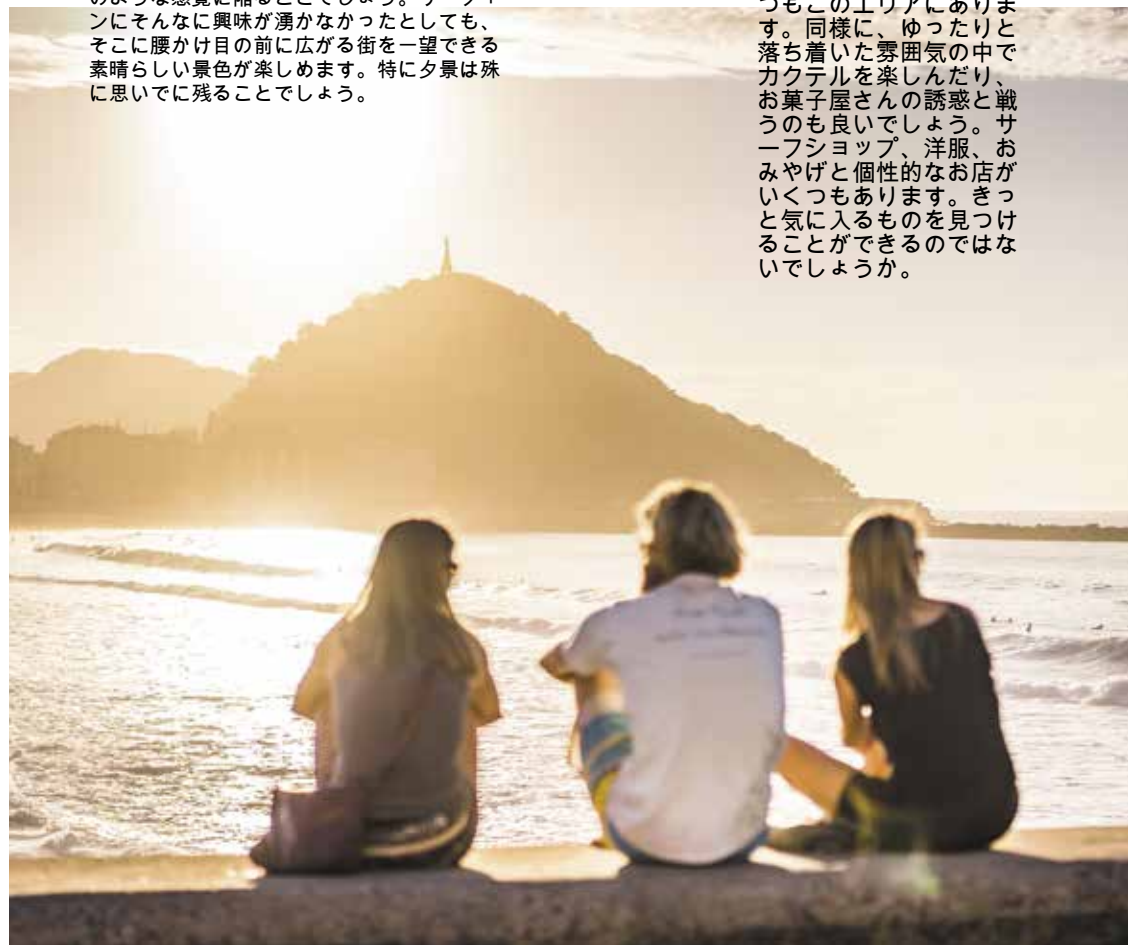
若さにあふれるビーチ

スリオラビーチはグロス地区のファサード。つまり、ただのビーチでもなければ、遊歩道でもなく、特有の雰囲気を持つサン・セバスティアンの前衛的な部分で言えるでしょう。これから起こるすべての先端に位置している、そうとも言えるかもしれません。

90年代半ばのその改革により、サン・セバスティアンの他のエリアとは一線を画してとても活気溢れるエリアとなりました。サン・セバスティアンの他の穏やかで上品なビーチと違い、スリオラはフレッシュで自由な雰囲気があります。クルサル国際会議場・公会堂をてがけた建築家モネオは波にあらわれる2つの岩を浜に並べたといいます。この町始まっ

て以来の巨大な現代的作品がおかれたのが、このスリオラです。そんな革新的でイマドキなところは他にもみられます。例えば、大きな集客力のあるジャズフェスティバルはこのビーチを会場にしています。そしてこの浜辺の一部はヌーディストビーチとなっています。

なににつけてもここはやはりサーフィンのメッカであるということ。一年中どの時期のどの時間帯でも裸足でサーフボードを抱え、ウェットスーツに身を包みグロス地区をスリオラへと歩く彼らの姿を見ることができます。



400m先にみえる島には
小さなビーチが。。。
行ってみませんか？

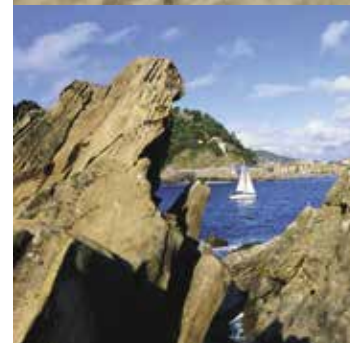


3.

オンダレタ

ファミリーサイズのビーチ

アンティグオ地区のオンダレタ、静かな波、くつろぐことのできる、穏やかなビーチ。ラ・コンチャ、スリオラ同様、無料のシャワー、ロッカーを完備、ビーチパラソルも借りることができます。食事、軽食のとれる小さな飲食店もいくつかあり、潮の満ち引きに影響のない砂浜スペースも広くあります。つまり、家族連れが一日過ごすには最高のビーチといえるでしょう。子供は岩場でカニを探し、若者はテニス倶楽部近くで波に乗ったり、ダイビングをし、大人は子供と一緒に島まで泳ぐこともできます。兩岸を隔てるこの400mを泳いでも、浮きを着けて水泳インストラクターと向かうのも良いでしょう。今までもこれからここで見られる光景でしょう。夏には沖に艇が出されます。そこで休憩しながら島まで泳ぐもよし、疲れてしまったらオンダレタに引き返すもよし。ビーチの西には「風の櫛」、高台の上にはサン・セバスティアンのアイコンでもあるミラマール宮殿、南にはオンダレタ庭園、あれこれ冒険した後、ゆっくり休むにはもってこいの3つのオプションではないでしょうか。



4.

サンタ・クララ島

バスク州で唯一の南を 向いたビーチ。

サンタ・クララ島からのラ・コンチャの眺めは素晴らしく唯一無二のものです。実際、バスク州で南向きに海、日中の太陽の反射を眺めることのできる場所は他にはありません。

泳いで、エアマットで、夏の時期に港から出ている渡し船で...手段はそれぞれですが浮かぶ小さな島に足を踏み入れれば感動は間違いのないでしょう。ここサンタ・クララ島は他にはない場所なのです。16世紀末、ペストの患者の治療をここで行っていました。現在では純粋に時の流れを忘れてくつろぐためのビーチとなりました。南向きのビーチというのは、バスクの海岸線でもここだけです。ビーチの長さは30Mほど。しかし、一般的な設備はもちろんライフセーバー、桟橋に併設されたバルも含め、他のビーチと遜色ありません。海水浴の後、この島の山のあたりで森林浴もできます。ピクニックのためのテーブルで食事するのも良いでしょう、シエスタするのもいいかもしれません。

芝生内立ち入り禁止！の禁止

今さっき見た風景、青い海が緑の森に、波が噴水に、砂浜が芝生に姿を変えたかのようなドノスティアの公園。広大な敷地内を歩きやすい靴で散歩してみてください。徐々に雑念が消えて来て、ひょっとしたら、散歩していること自体忘れてもわすれてしまうかもしれません。

サン・セバスティアンの公園：都会のオアシス

1. クリステイーナ・エネア公園

エギア地区にあるこのクリステイーナ・エネア公園はマンダス公によってその妻に捧げられた緑のオアシスです。彼女の死後、その造形に手を加えないことを唯一の条件としサン・セバスティアン市に贈与されたものです。そうして、公園は現在も孔雀や白鳥、異国情緒ある木々、散策コースすべてが当時のままの魅力を保ち続けています。



2. イゲルド山

ドノスティアにある海岸沿いの三つの山のうち最も高いのがイゲルド。その展望台から、町全体の素晴らしい眺望が臨めます。また、市内からはイゲルド山の後ろ刻々と染まりゆく夕景が楽しめ、それは町の景観と相まってまさに絵はがきそのものの美しさです。山頂には大きな塔がそびえ、併設の遊園地にはレトロな雰囲気のアトラクションが並びます。ここから左右に開けるカンタブリア海沿岸の絶景をみてしまうと、この海岸にあるすべての町を訪ねていくようになるかもしれません。

3. ミラマール庭園

おそらく、市内で最も眺めの良い場所でしょう。アンティグオ地区の玄関口であり、庭園には英国風の壮麗な宮殿が建っています。ここは夏の王宮で、マリア・クリステイーナ王妃、アルフォンソ13世、前国王ファン・カルロス1世も夏を過ごしました。小道やたくさんの花壇がしつらえられたミラマール庭園は緩やかなスロープで眼前に広がるラコンチャ海岸に溶け込み、美しい景観を作り出しています。



4. ウルグル山

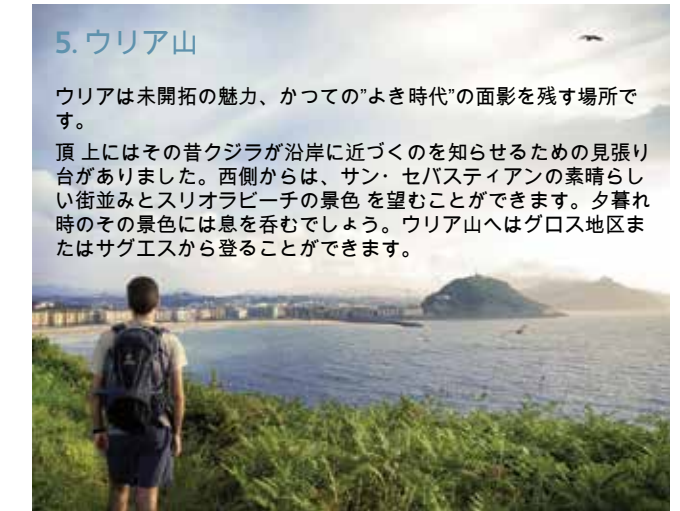
ウルグル山は街の近くにあります、気軽に訪れることができます。この山にはかつて町を守った城跡が残っています。ちょっとした小径や抜け道などに歴史の面影も感じるのもこの山の魅力でしょう。頂上には、イエス・キリストの像が立つ展望台があり、無料で入場でき、ここからはサン・セバスティアンで唯一3つのビーチが見渡せます。

6. アイエテ公園

サン・セバスティアンを囲む丘のひとつにあるのが、19世紀末にフランス人ビエール・デュカスによって設計された広大で美しい記念庭園です。その敷地にはフランク・夏の別荘だった立派な邸宅、花畑、きれいに整備された池、緑深い美しい森があります。

7. ミラモン公園

街の中心から約5分、ミラモン公園にはギプスコア県内の代表的な建物のミニチュアを集めたエウレカ科学博物館、アルビデ塔があります。この2つのネオゴシックの建築物はサン・セバスティアンの市内から少しずつ移築されていきました。



5. ウリア山

ウリアは未開拓の魅力、かつての"よき時代"の面影を残す場所です。

頂上にはその昔クジラが沿岸に近づくのを知らせるための見張り台がありました。西側からは、サン・セバスティアンの素晴らしい街並みとスリオリビーチの景色を望むことができます。夕暮れ時のその景色には息を呑むでしょう。ウリア山へはグロス地区またはサグエスから登ることができます。

9. アルティクツア

市内からは離れてしましますが、アルティクツアはサン・セバスティアンの緑地帯です。20世紀初めに、この土地は市役所のものとなりました。ブナ、松、ナラの木々が茂り、色鮮やかな森です。スペインで最も降雨量の多い場所のひとつであり、様々な植物が見られるこの辺りをじっくり楽しめるガイドツアーもあります。



サン・セバスティアン を 楽しむ

食を楽しむ

ミシュラン星付きレストラン 28ページ
ピンチョス を楽しむ29ページ
バスク郷土料理 34ページ
りんご酒 36ページ
チャコリー 38ページ
美食倶楽部 39ページ
バスク・クリナリー・センター
市場やデリカテッセン 40ページ
美食体験プラン

文化を楽しむ

美術館、博物館
バスクの伝統文化およびお祭り50ページ
フェスティバルおよびイベントスケジュール



感動はあなたの手に — 食を楽しむ

言葉で言い表せられないものを料理で表現する、それがサン・セバスティアン。ひとつひとつのピンチョや一皿ひとさらの料理はあなたが忘れられないような感動をつたえるための手段なのです。

“アダムとイヴは”美味しいものを食べたことによって楽園から追放された。”

でも、この町では全くその反対なのです。旧市街のバルからグロス地区のバルとピンチョをつまみではしご酒したり、セントロ地区の大衆レストランで食事をとったりと、ここはおいしいもの天国。ミシュランに認められた名店へ行くものなら、あなたのサン・セバスティアン美食の楽園入りはもう確実です。

サン・セバスティアンが世界的に美食で知られるようになったのは、この町ではあらゆる面において料理というものに重きがおかれているからです。

少し旧市街を歩き回るだけで、この町における飲食店業界の存在がいかに大きいかが見て取れます。この町には、訪問する度にお店を変えても、行くところがつきないほどのバラエティーと、

食事する度に感激するクオリティーがあるので

です。サン・セバスティアンは、美食倶楽部、サイダーハウス、ピンチョスのバル、シーフード料理店、それに、創作料理レストランなどの発祥の地と言えるでしょう。信じられないくらいにバラエティに富んだピンチョス、レストランで出すようなミニチュア料理がバルで食べられるのにも関わらず、ここサン・セバスティアンではレストランでの食事も盛んです。

その上、これでもかというようにミシェランの星を持つお店が集中。その数は人口あたりにして世界一です。

そう、ここは食べる喜びに満ちた町なのです。創造性、美、魅力、調和のおりなす楽園。こういった感情の鼓動が美味しい料理となるのです。



ドノステアでは
とにかく食べる

ちょっとした煮込み料理やピンチョス
など、何を食べても美味しい。

立ち食いにしろ、ちゃんと座って食べるにしろ、どうやって食べても美味しい。おしゃれな店から庶民的な食堂まで、どこで食べても美味しい。とにかくサン・セバスティアンは美味しいのです。



ミシュラン星付き レストラン

コンパスを手に取り、サン・セバスティアン地図の上にかざしてみてください。市庁舎に針をあて、半径25kmの円を描いてみてください。車で10分で移動できるこの小さな円の中にミシュランの星がどれだけあるかご存知ですか。18個です。さらに、国内に全部で11軒ある3つ星の内3軒がサン・セバスティアンにあります。3つ星レストラン:アルサック、アケラレ、マルティン・ベラスategui。ムガリッツは2つ星。そして、ココチャ、ミラドール・デ・ウリア、スベロア、アメリカ、エメベ・ガロテが1つ星。サン・セバスティアンから少し離れてオンダリアのアラメダ、ゲタリアのエルカノ、どちらも1つ星。これは普通のことでなく、実際に1m2辺りの星の数がこれほどまでに密集している場所は日本の京都を例外に他にはないのです。サン・セバスティアンでは、厨房というものをアイデアを生む研究所や世界的に知られたクリエイティブなアトリエへと姿を変えました。私達は食を芸術、エンジニアリング、アイデンティティへと変化させたのです。おしゃべりはここまで。さあ食事にしましょう。

Arzak

★★★

Chef: Juan Mari Arzak
Avda. del Alcalde José Elosegi, 273
Donostia / San Sebastián (G2)
T: 943 28 55 93
www.arzak.es

G 60

日曜、月曜日定休。

Martín Berasategui

★★★

Chef: Martín Berasategui
Loidi, 4 · Lasarte-Oria
T: 943 36 64 71
www.martinberasategui.com

G 50

日曜夜、月曜、火曜日定休。

Akelarre

★★★

Chef: Pedro Subijana
Pº Padre Orkalaga, 56 · Igeldo
Donostia / San Sebastián (A2)
T: 943 31 12 09
www.akelarre.net

V O G 65

3月から6月及び10月から12月は日曜夜・月・火休み 7月から9月は日曜夜・月曜休み

Mugaritz

★★

Chef: Andoni Luis Aduriz
Caserio Otxazulueta /
Aldura Aldea, 20 · Errenteria
T: 943 51 83 43 / 943 52 24 55
www.mugaritz.com

V O (イベント時175名)

日曜夜、月曜終日、火曜夜定休。



もし、サン・セバスティアンのレストランの定食、メニューがオーデコロンであるなら、ピンチョスは香水と言えるでしょう。

サン・セバスティアンの心、ここにあり。

元来、ピンチョは薄切りのパンに乗せたつまみを落ちないように楊枝で刺したもので、そこからその名前が来ています。例えば、超定番のトルティージャやサン・セバスティアン発祥のピンチョ、ヒルダ。これは唐辛子の酢漬、アンチョビ、オリーブを楊枝で刺したものでリタ・ヘイワースの代表作『GILDA』が名前の由来で、シンプルでありながら、完全に完成されている一品です。そして、レストランで食べるような洗練されたものを少量で提供するミニチュア料理など洗練されたピンチョスもあります。

ピンチョスをつまんでのはしご酒は、笑いにあふれ、会話もはずむ非常に楽しいものです。ある意味、一種の社交行事であり、私達の文化を知るためのよい機会となるでしょう。



初心者の方へアドバイス

それぞれのバルにオススメの一品があります。もし、何を頼んでいいかわからなかったら、まずは飲み物を注文し、常連客達が何をつまんでいるかに注目してみましょう。それと同じものを注文すれば間違いのないでしょう。

その他のミシュラン星付きレストラン

Alameda *

オンダリア
T: 943 64 27 89
www.restaurantealameda.net

日曜から木曜までの夜、月曜休み

Elkano *

ゲタリア
T: 943 14 00 24 / 649 33 52 74
www.restauranteelkano.com

日曜

Zuberoa *

オリアルツン
T: 943 49 12 28
www.zuberoa.com

11月1日から6月1日は日曜夜・火曜夜・水曜休み。6月1日から10月31日は日曜・水曜休み

Amelia *

ドノスティア/サン・セバスティアン
T: 943 10 16 13
www.ameliarestaurant.com

日・月・火休み

Kokotxa *

ドノスティア/サン・セバスティアン
T: 943 42 19 04
www.restaurantekokotxa.com

日・月定休

最近星を獲得したばかり

eMe Be Garrote *

ドノスティア/サン・セバスティアン
T: 943 22 79 71
www.emeberestaurante.com

日曜日夜・月休み

Mirador de Ulía *

ドノスティア/サン・セバスティアン
T: 943 27 27 07
www.miradordeulia.es

日曜夜・月・火休み

ピンチョスを 楽しもう！

旧市街、セントロ地区、グロス地区、その他のサン・セバスティアンのエリアどこでもバルでピンチョスを楽しむことができます。4、5軒のバルを回り、それぞれの店で一杯飲みながら、1、2品ピンチョスをつまむことをオススメします。アドバイス:いくつピンチョスを食べたか忘れないでください。お会計の際にウェ이터ーに尋ねられます。

・カウンターに並ぶピンチョスなら、並んでいるものを直接手にとって大丈夫です。

- ・温かいピンチョスは、ウェ이터ーに注文しましょう。
- ・ピンチョスのはしごをする時、一軒につき一杯一品、そして次のバルへ、というのが基本の流れとなります。・サン・セバスティアンのバルでは、楊枝の長さとそのピンチョの値段を示すわけではありません。疑問があれば、ウェ이터ーに聞いた方がいいでしょう。
- ・基本的にお会計は店を出るときに。習慣的に、各バルで順番に誰かが一括してそのお店の支払いをしていきます。もしくは、"ボテ"といって、予め一定額を仲間内で集め、そこから支払いをしていく、という方法も一般的です。(各バルでそれぞれが各自の支払いをするようなことはしません。)

※2019年7月更新

それぞれの地区のおすすめピンチョス

Parte Vieja 旧市街

伝統の味

ピンチョスの起源と真髄は旧市街のバルにあるといってもいいでしょう。この地区では昔ながらスタイルを守るバルと新しいスタイルを提供するバルと、いろいろ楽しめます。



Centro セントロ地区

洗練の味

このあたりは町の中でも一番風格がある地区。それが出されるピンチョスにもあらわれており、素材を重視し、料理技法も丁寧に繊細です。洗練された雰囲気をお好みの方におすすめのエリアです。



1— La Viña

アンチョビとチーズのゴルネ



31 de Agosto, 3・(1E)
☎ 943 42 74 95
www.lavinarestaurante.com

🔒 月曜日 G

2— La Ceba

牛フィレ肉、ゲルニカビーマンとジャガイモの串刺し



31 de Agosto, 7・(1E)
☎ 943 42 63 94
www.barlacepa.com

🔒 火曜日 G V ☎

3— Casa Gandarias

くも蟹のタルタレット



31 de Agosto, 23・(2E)
☎ 943 42 63 62
www.restaurantegandarias.com

🔒 通年営業 G ☎ 80

4— Dakara Bi

一口牛フィレステーキとフォアグラ パリーソース添え



31 de Agosto, 25 bajo・(2D)
☎ 607 27 96 45

🔒 月曜日 G

1— Victoria Café

レーズンや松の実、リンゴとコンフィした鴨のタロ(トウモロコシのトルティヤ) キャベツとジャガイモを添えて



República Argentina esq. Plaza Okendo (2E)・☎ 943 42 03 44
www.victoriacafe.es

🔒 通年営業 G ☎

2— Mesón Martín

トライネーラ・小ヤリイカと海老のソテーの生ハム添え



Elkano, 7・(2E)
☎ 943 42 28 66
www.mesonmartin.com

🔒 日曜日 G ☎ 30

3— Cafetería Iombi

イオンビ・フォアグラとうずらの卵のピンチョ



Plaza de Gipuzkoa, 15・(2E)
☎ 943 42 84 23
https://facebook.com/barcafeteriailombi

🔒 日曜日・祝日 (1月20日を除く) G

4— Antonio Bar

カンタブリア海のアンチョア、青唐辛子とピーマン添え



Bergara, 3・(2E)
☎ 943 42 98 15
www.antonioabar.com

🔒 日曜日・祝日 G

5— A fuego negro

ゴルダルオリープにベルモットのジュレを詰めて



31 de Agosto, 31・(2D)
☎ 650 13 53 73
www.afuegonegro.com

🔒 月曜日 G

6— Bartolo

フォアグラのソテー



Fermin Calbetón, 38・(2E)
☎ 943 42 02 79
www.casabartoloetxea.com

🔒 夏季は休みなし それ以外は火曜定休 G 80

7— Zumeltzegi

あんこうの串焼き



Fermin Calbetón, 15・(2E)
☎ 943 42 82 10
www.restaurantezumeltzegi.com

🔒 木曜定休 冬季は日曜夜休み G 45

8— Haizea

塩だらのつつみ揚げ



Aldamar, 8・(2E)
☎ 943 42 57 10
https://facebook.com/BarHaizea

🔒 日曜祭日午後 G

5— Avenida XXI

アベニダXXIパンケーキ



Avda. de la Libertad, 21・(2E)
☎ 943 42 60 54
www.farfalle.es

🔒 日曜日・祝日 (1月20日・8月15日を除く) G V O

6— SM Café Bar

パウローネギと海老の包み揚げ



Urbietia, 6 - Local 20
C.C. San Martín (3E)
☎ 943 42 76 10

🔒 日曜日・祝日 G

7— Rojo y negro

車海老とエメンタールチーズの天ぷら風串揚げ



San Marcial, 52・(3E)
☎ 943 35 83 82
www.rojoynegradonosti.es

🔒 通年営業 G ☎ 40

8— Iturrioz

塩だらのラネーロクラブ風



San Martín, 30・(3E)
☎ 943 42 83 16

🔒 日曜日 G

Gros グロス地区

前衛系

この地区のお店はレシピや食材に新しいものを取り入れ、流行と伝統をうまくミックスさせています。雰囲気も今風でにぎやか。特にピンチョポテの日は盛り上がります。



1_

Café Kursaal

コンチータピルのタコス
ワカモーレ添え



Ramón M^o Lili 2・(2F)
☎ 943 35 93 21
www.cafekursaal.com

🔒 日曜午後 G ①

2_

Bodega donostiarra

インドウライン・ピンナガマ
グロ、アンチョア、青唐辛
子、タマネギ、オリーブの入
ったタコスにオリーブオイル
をかけて



Peña y Goñi 13・(2F)
☎ 943 01 13 80
www.bodegadonostiarra.com

🔒 日曜日 ①

3_

La pepa taberna frutal

コールドプレスジュース、ア
カイ、ドラゴンフルーツ、コ
コナツのスーパーボール



Avda. Zurriola, 38・(2F)
☎ 843 983 668

🔒 火曜日

4_

San Francisco 33

ペラルティエタ・ルッコラを
ベースにブリーチーズ、トマ
ト、パクチ、アボガド、レモ
ン。



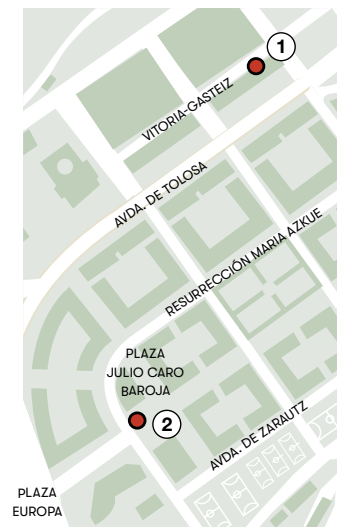
Jose Miguel Barandiarán, 24
(2F) ☎ 943 14 24 86
www.sanfrancisco33.com

🔒

Antigua アンティグオ 地区

これぞホンモノ

アンティグオ地区に住んで
いる人はここの住民であるこ
とを誇りに思っています。だか
らこのあたりのバルのピンチ
ョスも他に劣るわけがありま
せん。ここではこの地区独特
の美味しいピンチョスや家族
連れで楽しめるバルを発見で
きるでしょう。



1_

Kukuarri

黒マグロのタルタル:まぐろ・
ライムジュース・しょうゆ・
ごま油、キャサバのフライと
トマトとともに



Vitoria-Gasteiz 1・(4B)
☎ 943 21 67 26
www.restaurantekukuarri.com

🔒 通年営業 ①

2_

El café de Mario

フォアグラのソテーリンゴ
ース



Plaza Julio Caro Baroja, 2・(4A)
☎ 943 31 50 77
https://es-es.facebook.com/cafedemario/

🔒 通年営業 ①



ガイドの見方

(2E)	🔒	①	V	O	🍷	G	n° (X)
地図上での位置 — 54	定休日	通し営業	ベジタリアン	糖尿病患者	グルテンアレルギー	エウスカディ ガストロノミカ	キャバシティー

よだれがでてしまう お店の数々



ピンチョポテ

この町にあるレストランは、
それ自体が観光目的になるほ
どの人気です。

単に美味しい食事を楽しむというところから、この土地や風景、お祭りやこの地の人々に密接した美食文化を知ってもらい、そして味わってもらおうというところまで観光コンセプトをひろげてきました。

そして今や、ドノスティア/サン・セバスティアンは世界的に美食の町として知られるようになったのです。

この町のレストランは郷土料理から創作料理、庶民的なランチメニューや贅沢なデグスタシオン(コース)メニューを提供する店と様々。ドノスティア/サン・セバスティアンにはありとあらゆるレストランがあります。

おおよそのレストランの営業時間:
ランチ 13:30-15:30。
ディナー 20:30-22:30。

ASOC. DE EMPRESARIOS
DE HOSTELERÍA
DE GIPUZKOA
Almorta, 2
☎ 943 31 60 40
www.hosteleriaipuzkoa.com

ドノスティア/ サン・セバスティアン の 愉しみ

サン・セバスティアンにはここに来たからには食べるべき料理があります。そのいくつかをお教えします。

- チャングーロ。セントージョという蟹を使いオープンで仕上げた料理。
- 鱈もしくはメルルーサのココチャ。下顎の部分の身です。オリーブオイルとニンニクを使い土鍋で調理します。
- メルルーサのコシケラ風。アサリ、グリーンピース、パセリを使い土鍋で調理したものにゆで卵をカットしたもの、アスパラガスを添えてサーブされます。
- 塩鱈オムレツ。シンプルかつ美味。
- 鱈のピルビル。ニンニクで風味をつけたオリーブオイルと鱈のゼラチン質と乳化させたソース。
- Lボースステーキ。バスク地方の牛肉は格別です。炭火で焼き上げたこのあじわい深い一品を食べる機会を逃さないでください。

“ピンチョポテ”は地元の飲食店主たちがもっと気軽にポテオ(=はしご酒)をしてほしいと言う思いから始まったもの。通常の飲み物一杯の値段で、ピンチョ(おつまみ)をサービス。飲み物はビールかワインが一般的です。“ピンチョポテ”は一週間の中で特定の日に行われます。エリアによって日にちが違い、水曜日であったり、木曜日であったり、毎日行っている店もあったりしますが、基本的に時間は限られています(18:30-21:00が目安)。

グロス地区の中心部であったり、エギア地区、サン・マルティン市場、アマラ地区周辺やアンティグオ地区などが特に盛り上がりします。



りんご酒

りんごの気持ち



りんご酒とチャコリーは、リオハ地方のワインとならんで、会話をはずませ、料理をより美味しく、そして何よりテーブルを囲む喜びを味わわせてくれることでしょう。

りんご酒の儀式

この地方では何世紀にもわたってりんご酒が製造されてきました。伝統的な手法ででりんごの果汁を発酵させりんご酒は作られます。1月半ばから4月にかけて、シドレリア(りんご酒醸造所)に「チョッツ(樽出し)」の季節がバスクにやってくる。ここでは牛のLポーンステーキと塩鱈料理といった郷土料理のメニューと、瓶詰めする前の新酒を大樽から直接楽しむことができます。リンゴ畑に囲まれた醸造所の一部にレストランを構え、一年を通して営業しているシドレリアもあります。場所によっては、昔の習慣そのままに、立ってテーブルを囲んで食事を楽しんだり、醸造所内の低い温度に備えて上着を着たまま過ごす所もあります。最近では、空調の効い

たシドレリアもあります。木製の長いテーブルで地元の人達と相席しながらりんご酒を楽しむ、シドレリアの雰囲気は一種独特と言えるでしょう。

サン・セバスティアンから10kmもないところにあるエルナニ、そしてアスティガラガには、100軒以上ものシドレリアがあります。アスティガラガでは、シードル博物館(サガルドエチエア)へも是非足を運んでみてください。



チョッツの 習わし



チョッツ

1月から5月の半ばまでシドレリアの儀式で使う魔法の言葉。



サイダーハウス体験を予約してみてください。

- りんご酒の作り手が「チョッツ!」の掛け声と共に、大きな樽の栓を抜き新酒を振る舞います。
- 客は席をたって空のグラスと共に樽の方へ向かいます。着いた順番を守りながら、小さな穴から勢いよく出てくるりんご酒をグラスにうけます。グラスを傾け、そこでキャッチすることで、泡が立ち、香りが引き出されるのです。

- それぞれの樽は味が違いますから、それを友人やそこに居合わせた人たちと立ったまま味比べをするのは楽しいものです。そして空のグラスと共にテーブルへと戻ります。
- こんな風にお好きなだけ、いろいろな樽のりんご酒を試してみてください。

GIPUZOAKO SAGARDOGILEEN ELKARTEA

Nabarra Oñatz 7, - bajo
ASTIGARRAGA
☎ 943 33 68 11
www.sagardotegiak.com

SAGARDOAREN LURRALDEA

Kale Nagusia, 48
ASTIGARRAGA
☎ 943 55 05 75
www.sagardoarenlurraldea.eus

SAGARDOA ROUTE

Navarra Oñatz, 7 - bajo
ASTIGARRAGA
☎ 943 33 68 11 / 622 618 476
www.sagardoa.eus

Beharri

Narrika, 22 • DONOSTIA / SAN SEBASTIÁN
☎ 943 43 16 31
www.sidreria beharri.com



V G 110
☎ 通年営業

Gurutzeta

Oialume Bidea, 63 • ASTIGARRAGA
☎ 943 55 22 42
www.gurutzeta.com



G 150
☎ サイダーハウスシーズンのみ

Iretza

Troia Ibilbidea, 25 • ASTIGARRAGA
☎ 943 33 00 30 / 636 49 92 22
www.iretza.eus



G 410
☎ 通年営業

Petrítegi

Camino de Petrítegi, 6 • ASTIGARRAGA
☎ 943 45 71 88
www.petrítegi.com



G V 560
☎ 通年営業

Saizar

Barrio Kalezar 39 • USURBIL
☎ 943 36 45 97
www.sidrassaizar.com



G V 300
☎ 通年営業

Txirrita

San Bartolomé, 32 • DONOSTIA-SAN SEBASTIÁN
☎ 943 46 76 38
www.txirritasagardotegia.com



G 230
☎ 日曜夜・月

地酒の革命

若のみの 白ワイン

チャコリーは瓶詰めから一年以内を目処に、よく冷やしてお楽しみください。どんな料理ともよくあいますが、特にピンチョスとの相性は抜群です。



チャコリーは私たちの地酒。

30年前、チャコリーはその酸味の強い味から居酒屋で一杯ひっかけるありきたりのワインと思われていました。でも、今では私達の美食文化を代表するものの一つと言えます。フレッシュな飲み口で洗練された白ワインは美食で名高いこの町で愛されるようになったのです。ギプスコア県におけるチャコリーの主要産地であるアヤ、サラウツ、ゲタリアなどのワイナリーを巡るルートで、フルーティーな若のみのワインの秘密を知ることができましょう。塩漬けアンチョビやツナのオイル漬けなどの肴と相性抜群です。この辺りの美しい海岸線の景色を楽しめるドライブは、チャコリーを飲む前のよいお楽しみとなるはずです。

チャコリーはこのバスクの地に何世紀も前から根付いている地酒。そして郷土料理の最良の友なのです。

チャコリー ワイナリー

ガイド付き見学のお問い合わせは下記まで

Hiruzta

Barrio Jaizubia, 266
HONDARRIBIA
☎ 943 10 40 60
www.hiruzta.com



Katxiña

Barrio Ortzai, 20
ORIO
☎ 943 58 01 66 / 606 367 693
www.bodegakatxiña.com



Rezabal

Casa Itsas-Begi, 628 Asti Auzoa.
ZARAUTZ
☎ 943 58 08 99
www.txakolirezabal.com



Talai berri

Talaimendi 728, Apdo 184
ZARAUTZ
☎ 943 13 27 50
www.talaiberri.com



美食倶楽部 その会員と、 招待された人だけが はいれる メンバーズクラブ

美食倶楽部とは自分の家とレストランの中間のようなものです。美食倶楽部は調理場の設備が整っており、集まった会員が和気あいあいとした雰囲気です。または夕食をとりまします。利用するためには、その倶楽部の会員に招待される必要があります。料理は外から持ち込むか、メンバーの誰かが料理したものを食べます。食後に費用を計算し、頭数で割って精算します。

もし招待される機会に恵まれたなら、迷わず出席してみてください。サン・セバスティアンの食文化にどっぷりつかれることでしょう。

バスク・クリナリー・センター 4年制料理学部

料理好きのためのコース

美食文化を学び、追究し、発見し、楽しみ、そして見聞を広めるため、料理技術大学は料理が大好きな人のためのコースも用意している

“料理技術を学ぶ大学はここになくなくてはならない。”
バスク・クリナリー・センターは2011年にミラモン・テクノロジー・パーク内に開校。プロフェッショナルが五感を駆使し、感動を生み出すヌエバ・コシーナへの需要に対応した大学です。



Juan Avelino Barriola, 101
☎ 902 54 08 66
www.bculinary.com



Boulevard 13よりバス31番乗車

物産品

昔ながらの市場やグルメショップ



サン・セバスティアンでは昔ながらの商いのスタイルを残しています。実際、農家や畜産農家などの生産者さんによって一年を通して町に持ってこられる旬の食材がわたしの食文化の重要な部分を占めているといってもいいでしょう。これは数十年も前からずっと続いていることです。プレチャ市場やサン・マルティン市場では有名な料理人達が素材を選ぶ姿をよく目にします。毎日、レストランで使う肉、野菜、魚介を選びにやって来のです。サン・セバスティアンの郊外、トロサやオルディシアの定期市は良質の地元素材が買えるもってこいの場所でしょう。



贅沢をしたい方へ

こうして昔ながらものがあると同時に、おしゃれで他とは嗜好で差をつけるグルメや料理好きを満足させる輸入食材や高級食材を扱う店もあります。

チーズ専門店のアイトル・ラサ、素晴らしいワインのコレクションを持つアルドテカ・ゴニ。食材の宝庫サン・マルティン市場などです。



紹介した商品は次のグルメショップでお求めになれます。

AITOR LASA

GAZTATEGIA GOURMET
Aldamar, 12
www.aitorlasa.com

ARAMENDIA CHOCOLATERÍA

Narrika, 22
www.casa-aramendia.com

GOÑI ARDOTEKA

SAN SEBASTIAN WINE SPOT
Aldamar, 3
www.ardoteka.com

GOURMET

Autonomia, 12
gourmet12.blogspot.com

KAÑABIKAÑA

CRAFT BEER SHOP
Avda. Zurriola, 36
www.kainabikaina.com

LA SEVILLANA

San Lorenzo, 6
www.lasevillanadonostiarra.com

MERCADO DE SAN MARTÍN

Urbietta, 9
www.mercadosanmartin.es

その道に詳しい人におまかせしてみましよう。

その土地を知る人間に任せてしまうのが、ガイドブックを読み込んで何をすべきかと迷い時間をかけるより賢い選択かもしれません。サン・セバスティアンにはガイド付きツアーを企画している会社があります。サン・セバスティアンの食事情に精通していて、あなたがまるでこの街で生まれ育ったかのように楽しめるよう、最適なプランを提案します。美食ガイドツアー、ワークショップ、専門店巡り、市場見学、テイスティング...サン・セバスティアン、バスク州の美食地図を網羅する旅程。至福の時を過ごすことのできる美食のルートを用意しています。

バスク料理の秘密

地元の人だけが知るピンチョスのルートを見つけたり、料理教室で定番のピンチョスの作り方を学んだり、美食倶楽部にて行われる料理教室を通じて郷土料理のコツを掴みましょう。ガイドと一緒にチャコリのぶどう畑やシードルのリンゴ畑を訪れたり、ワイナリー主催のワインテイスティングに参加したり、またはチーズの加工工程を見学し試食するのもいいでしょう。バスク料理の秘密をときあかしてみたいいかがですか。✓



あなたの滞在をより楽しむためのレシピ



サン・セバスティアン、
町自体がミュージアム

文化を楽しむ

海はここに優れた作品を作った。人は美術館、文化センター、有名な芸術家の彫刻作品をもってその高みに近づけるのだろうか。

ホルヘ・オテイサ、
エドゥアルド・チジーダ。
空虚の建築家。

そして、波が荒れる日には、風、海、岩など、自然が、人の手で作られた作品を完成させる。水オルガンがその音を奏でる『風の櫛』がそうである。



24時間閉まることのない美術館。 入場も無料。

サン・セバスティアンは閉館時間も屋根もない美術館。もし海が荒れているなら、その姿は自然

の芸術であり、テレビニュースでインバクトのある映像として放送され、内外の人を驚かす。また、穏やかであれば、その素晴らしい芸術家の常設作品を楽しみ、賞賛するためのこの上ない額縁となる。サン・セバスティアンという空間に、人間がどのようにその作品を同化させようとしたかを見てとることができるのだ。

エドゥアルド・チジーダはこの町の代弁者だろう。サン・セバスティアンの換喩であり、シンボルでもある『風の櫛』、彼の感受性、そしてこの町への愛情の最たる表現。他にもサン・セバスティアンには彼の作品が散りばめられている:ピコ・デル・ロロにある『ラファエル・バレルディへのオマージュ』、ラ・コンチャ遊歩道にある『ビクトル・フレミングへのオマージュ』、ウルグル山の『ペドロ・アラナへのオマージュ』。プエン・バストール大聖堂やサンタ・マリア教会にも彼の足跡がうかがえる。チジーダ・レク美術館、そこを訪れる人がすべてを忘れることのできる緑に包まれた空間、これがチジーダの最後の作品なのだ。

平和のために
彫刻を巡る散歩の最後を
締め括るのがグロス地区
のサグエスにある彫刻家
ネストル・バステレチエ
アによる作品『平和の
鳩』。言葉と思想へ対す
るオマージュだ。



その他にも市内には大小様々なギャラリー、美術館、そしてタバカレラ現代文化国際センターなどがある。

サン・セバスティアン市民の創造的な精神や、協力姿勢もあり、2016年には欧州文化都市の一つに選ばれた。

ミュージアム

いろいろ知りたい感じたい人へ

サン・セバスティアンには充実した美術館、博物館があります。歴史、科学、テクノロジー、海洋学、美術と分野も幅広く様々です。また、展示室や巨大な水槽、最新の視聴覚設備を備えています。



サン・テルモ博物館

旧市街に位置するこの博物館は大がかりな工事の上、リニューアルオープン。かつては16世紀のドミニコ会の修道院だったものを改修し、前衛的な建築物を増設しました。このバスク社会および市民権をテーマにしていた博物館では、現代バスク社会の新しい観点をみてとることができます。たとえば、充実した考古学や民俗学などの展示物、ドキュメンタリーや美術品などと、現代バスクを代表するクリエイターによるオーディオビジュアル作品とともに、実に意欲的なプログラムとなっており、私達の社会を知る鍵となるでしょう。

Plaza Zuloaga, 1 (1E)
☎ 943 48 15 80
www.santelmomuseoa.eus



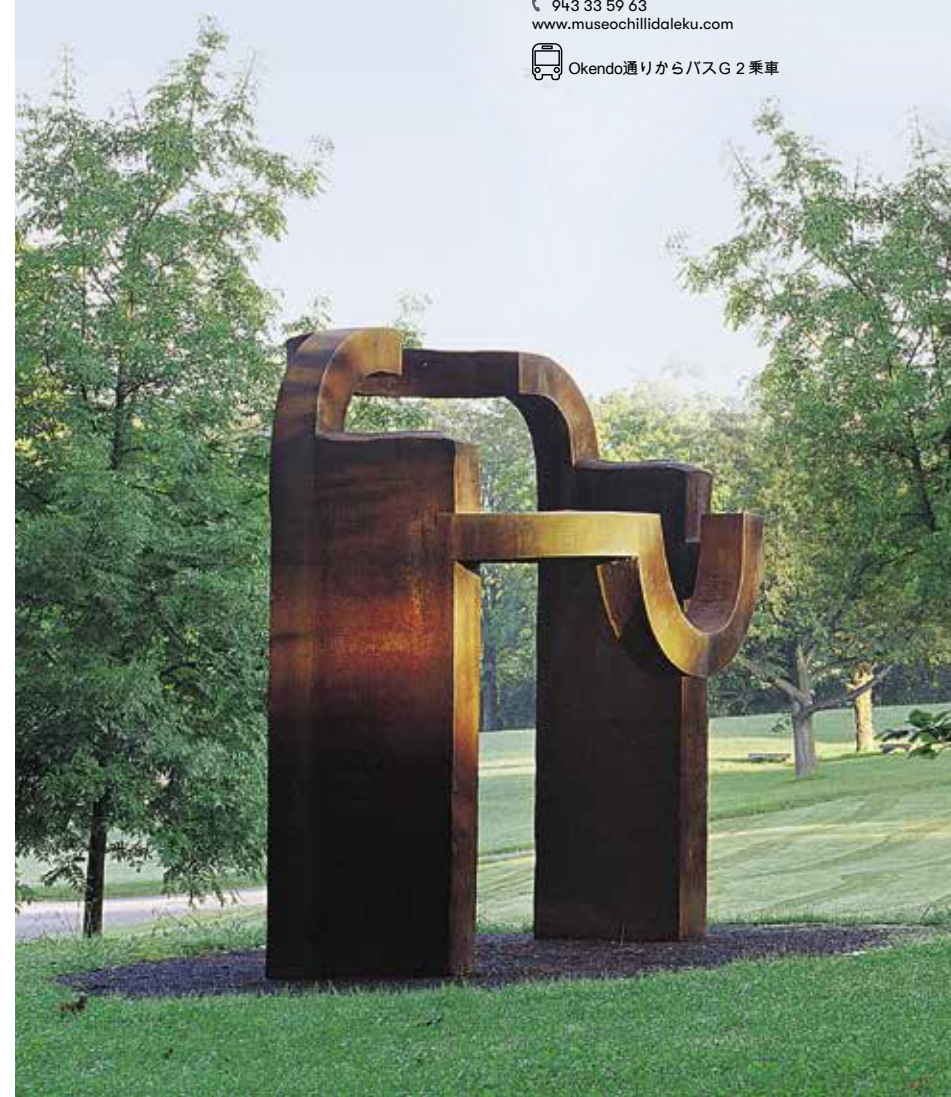
チジーダ・レク

チジーダ・レクは彼の作品の展示を以てその概念を体現する”チジーダの場所”です。

サバラガ古民家の敷地内において、屋外では40を越える鉄や花崗岩を使った大きな作品が、屋内では小さな作品や、スケッチ、初期の作品などが展示されています。

B° Jauregui, 66. Hernani
☎ 943 33 59 63
www.museochillidaleku.com

Okendo通りからバスG 2乗車



水族館

サン・セバスティアンの海の宮殿とでもいしましょうか。この水族館はヨーロッパの中でも近代的なもののひとつです。建築家フアン・カルロス・ゲラの作品であるその建物は岩場の上にあり、360°アクリル製のトンネルによって貫かれた水槽では、エイやサメを眺めながら訪れるものがまるで海の中にいるかのように感じることができます。200種類以上の海洋生物がそれぞれの水槽で紹介されていて、直接生き物に触れることのできるコーナーもあります。



360°のトンネル。
魚はまるで飛んでいるかのように。



Plaza Carlos Blasco Imaz, 1 (2D)
☎ 943 44 00 99
www.aquariumss.com



900 m

タバカレラ

2015年にオープン。かつてのタバコ工場を改修し、現代文化国際センターにするという大掛かりなプロジェクト。各分野を代表する文化機関による様々のプログラムが年間を通じて用意されています。



Plaza de las Cigarreras, 1 (3F)
☎ 943 01 13 11
www.tabakalera.eu



20世紀全般のオー トクチュール コレクション



Parque Aldamar, 6. GETARIA
☎ 943 00 88 40
www.cristobalbalenciagamuseoa.com



バスUK9、UK10、UK 11に乗車

クリストバル・バレンシアガ ミュージアム

クリストバル・バレンシアガミュージアムでは20世紀中頃オートクチュールに軌跡を残したデザインの数々、そして、クリストバル・バレンシアガというエレガントなクリエイターの創造性を知ることができます。

丘の上から海を臨む風光明媚な場所にミュージアムはあり、現代的な建物と19世紀半ばの避暑用の屋敷との組み合わせは景色に見事に溶け込んでいます。ミュージアム保有の幅広いコレクションと20世紀の衣裳史を様々な観点から捉える企画展が行われています。

歴史館

ウルグル山の頂上、ラ・モタ城にある歴史館ではサン・セバスティアンの歴史を紹介しています。オーディオビジュアルや模型などの展示物を通して、800年近くの歴史をもつこの町について学べます。

Castillo de la Meta -
Monte Urgull (1D)
☎ 943 48 15 47
www.santelmomuseoa.eus



1,4 km



エウレカ! 科学博物館



楽しみながら科学が学べるインタラクティブ博物館。常設展示は170を超えるインタラクティブモジュール、デジタルプラネタリウム、20種類の動物がいるスペース、標本を用いて人間や動物のからだに関する展示、シミュレーターで構成されています。その他レストラン、カフェテリア、ピクニックスペース、無料駐車場も完備。

Paseo de Mikeletegi,
43-45 (6D)
☎ 943 01 29 00
www.eurekamuseoa.es



Boulevard 9 からバス 2 8 番乗車



サガルドエチエア-リンゴ酒 ミュージアム

サン・セバスティアンから数キロ離れたアスティガラガにあるリンゴ酒ミュージアムはリンゴとリンゴ酒へのオマージュ。このミュージアムはパネルや写真を使いリンゴとリンゴ酒の歴史をまとめた屋内施設、この地域で育つ豊富なリンゴの種類や栽培システムの研究をするための試験畑、そして、実際にシードルを試飲するための施設という風に3つに分かれています。

リンゴ酒 ミュージアムへ ようこそ

Kale Nagusia, 48 ☎
Astigarraga
☎ 943 55 05 75
www.sagardoarenlurraldea.eus

☎ Oquendo, 14からバスA1もしくはA2乗車

海洋博物館

海洋博物館は、長期間にわたって開催される専門分野の企画展を通して、バスク海洋文化や歴史の伝承及び海洋遺産の保存に努めています。博物館の建物は当時サン・セバスティアン商工取引所で、18世紀半ばに建てられました。



アルバオラ

様々な展示のほか、実際に職人が作業している造船所兼博物館では16世紀のガレオン船、捕鯨船サン・フアン・レプリカの造船現場を見ることが出来ます。ヨーロッパ文化首都2016のプロジェクトのひとつです。サン・セバスティアンからわずか3km、断崖の間に隠れた場所にあり、船もしくは海岸線を歩いて行くことができます。

Paseo de Ondartxo, 1
Pasai San Pedro
☎ 943 39 24 26
www.albaola.com

☎ Oquendo, 14からバスE09乗車

Paseo del Muelle, 24 (2D)
☎ 943 43 00 51
www.untzimuseoa.eus

☎ 850 m



リアル・ソシエダ ミュージアム

このミュージアムはリアル・ソシエダの創設100周年の記念日にあたる2009年9月7日にオープンしました。400㎡の敷地で、最新の設備を使いクラブの歴史を紹介しています。

Pº Anoeta (bajos del estadio) (6F)
☎ 943 47 39 53
www.realsociedad.com

☎ Boulevard 9からバス21.26.28番乗車



環境資源センター

クリスティーナ・エネア公園内にあるドゥケ・デ・マンダス邸は現在、環境資源センター及び都市景観・そのサステナビリティ研究所となっています。また、邸宅内には図書館、環境持続可能性に関する展示がされており、環境に関するトレーニングセンターも併設されています。

Parque de Cristina Enea.
Pº Duque de Mandas, 66 (4F)
T. 943 45 35 26
www.cristinaenea.eus

☎ Boulevard, 15からバス9番乗車

その他の 文化関連 施設

Avda. Zurriola, 1
☎ 943 01 24 00
www.sala-kubo-aretoa.com

☎ 500 m



サラ・クーボ

クルサアル国際会議場敷地内にあり、その1,000㎡のスペースでは大きな規模の展示を開催することが可能です。企画展を基本とし、20世紀初頭から現在までの造形芸術がメインに扱っています。企画展プログラムについての問い合わせは下記連絡先まで。

レソラ・セメント博物館

人類の文明におけるセメントの重要性を認識するための施設。博物館のアクティビティでは産業の分野においての過去と現在、そして生活スタイル、素材、建築、工学、芸術そして環境の変遷について知ることができます。

Avda. Añorga, 36.
T. 943 36 41 92
www.museumcementorezola.org

☎ Boulevard, 17からバス25番乗車



コルド・ミチエレナ

公共の図書館であるだけでなく展示部屋が2つあります。エラクスタレオでは国際的な視覚芸術の現状を、ガンバラではまだ有名ではない地元の芸術家にスポットを当てています。

Urdaneta, 9
☎ 943 11 27 60
www.kmk.gipuzkookultura.net

☎ 850 m

アートギャラリー



個展、グループ展、若いクリエイター、有名芸術家など、ぜひ、ギャラリーへ足を運んでみてください。

#ARTEKO Iparragirre, 4. (2F) · www.artekogaleria.com #CIBRIAN GALLERY Hernani, 21 (2E) · www.cibriangallery.com #EKAIN ARTE LANAK Iñigo, 4. (1E) · www.ekainartelanak.com #INIGO MANTEROLA Plaza Zaragoza 3, bajo. (3E) · www.inigomanterola.com #KUR ART GALLERY Avda de Zurriola, 6. (1F) · www.kurgallery.com

単なる民族的な祭りではなく、 ひとつのアイデンティティ。

太鼓祭り（タンボラーダ）、レガッタレース、バスク祭り（エウスカル・ハイアック）やサント・トマス豚祭りなどこの街に深く根付いたお祭りの背景には何があるのでしょうか。そこには、祖国への想いを形作るとても古い歴史を持つ言語バスク語（エウスケラ）、独自の文化など、この国のアイデンティティがあるのです。



バスクの文化は唯一無二。独自の言語でありヨーロッパで最も古い言語でもあるバスク語（エウスケラ）を話し、努力、土地への愛着、団結力、伝統への敬意を保持するなど、独自の価値観を持っているバスクの民。民族的な慣習や伝統スポーツ競技など独自のアイデンティティはその言語やその価値観に根ざしています

太鼓祭り（タンボラーダ）やサント・トマスの豚祭り、カーニバルからバスクの伝統的競技大会（エリ・キロラック）にレガッタレースのラ・コンチャ杯といった、農業や漁業に携わるバスクの民の間に古くからみられるライバル意識を起源に持つスポーツ競技など、この町のお祭りにふれることで昔から続く本来のバスク人の姿を推し量ることができるはず。

1月20日、サン・セバスティアンの日。数千というナポレオン時代の軍服に身を包んだ兵隊部隊とコックコート姿の料理人部隊が太鼓をたたきながら街中をパレードする様子を想像できるでしょうか？この町の守護聖人を祝うのがこのタンボラーダ、太鼓祭りです。サン・セバスティアンマーチと共に、憲法広場にサン・セバスティアンの旗が掲げられれば、深夜12時から24時間限り、町中が祭りの熱気であふれます。

カーニバル

毎年2月頃(カトリック教のカレンダーによる)、冬の間最も大事な祭りであるカーニバルが祝われます。まずは、「ハンガリーからやってくる」と歌う騒々しい鍛造工たちのパレードによってその到来が知らされます。カーニバルではモモという名の神様の出現と共に通りという通りが色とりどりにお祝いする人で賑わいます。

セマナ・グランデ 夏祭り

サン・セバスティアンで最も大きな祭り、8月15日までの1週間を通して聖母の被昇天を祝います。コンサート、華やかなショーを含む文化的イベント、そして国際花火コンクールが每晚開催されます。



娯楽と文化。
バスク伝統球技ペロタの世界
にふれてみよう。

#FRONTÓN GALARRETA
Entidad Jauregi, s/n
HERNANI
☎ 943 55 10 23
www.galarreta-jaialai.com

#JAI ALAI EVENTS
Frontón Galarreta
www.jaialai.eus

#JAI ALIVE.
Portuete 83, 3º.
www.jaialaiworldtour.com

バスク祭り（エウスカル・ハイアック）

9月はエウスカル・ハイアックのシーズンです。地域独自のスポーツ、伝統舞踊などの幅広いプログラムでバスク文化を存分に楽しめるお祭りです。

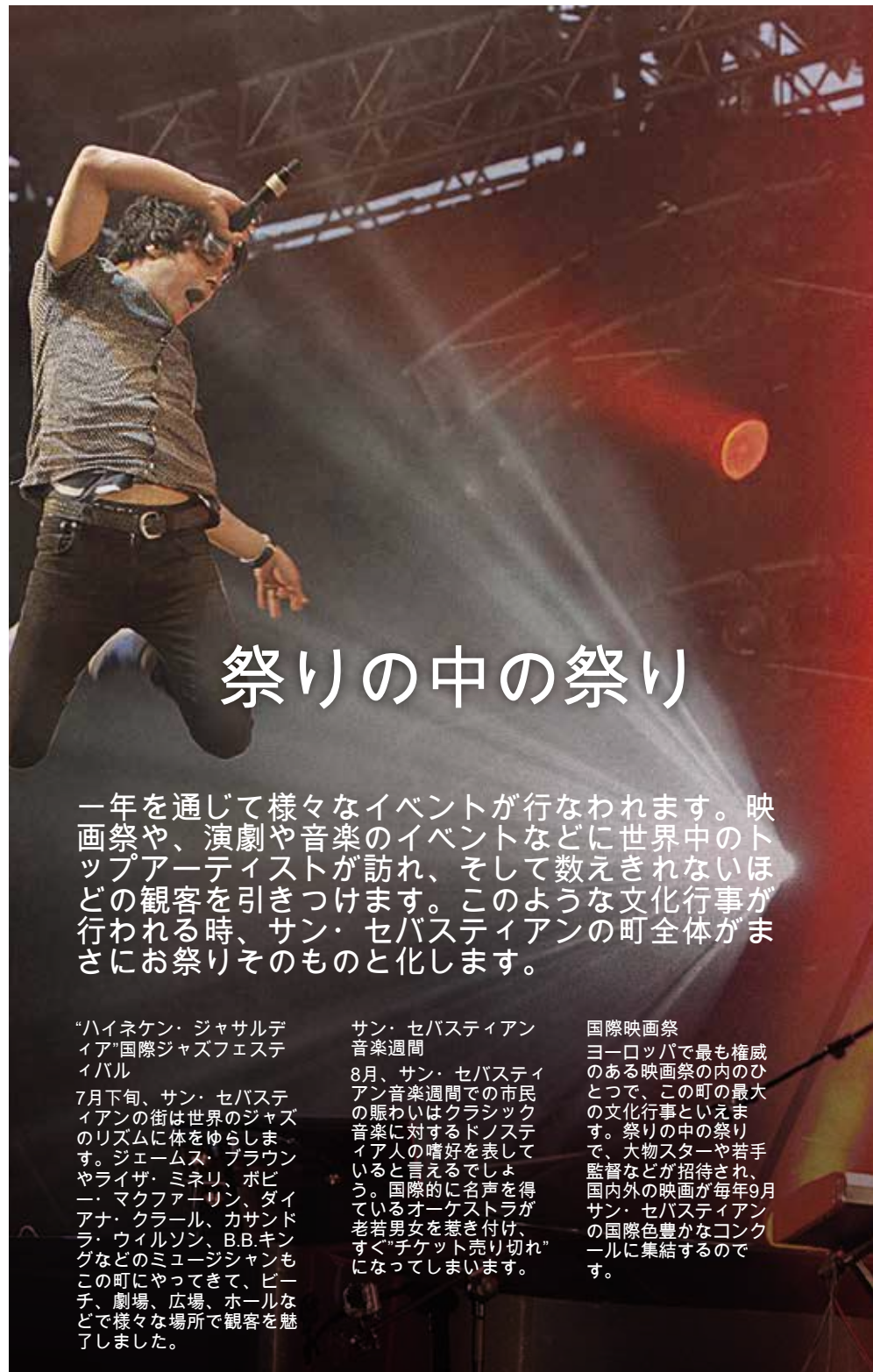
ラ・コンチャのレガッタレース

9月第1、2日曜日、サン・セバスティアンはカンタブリア沿岸の漁村からやってくるレガッタのサポーターで溢れ、港、ウルグル山麓周辺はそのチームカラーでカラフルにそまります。レガッタの主要な大会であるラ・コンチャレースは必見の価値があります。ポート競技のオリンピックと言えるでしょう。

サント・トマス祭

12月21日に開催され、ドノスティア人にとって一番楽しみなお祭りです。かつてこの日に近郊の農家や牧畜業者が税金を納めに町に来て、もってきた産物で市をたてたことがその由来となっています。





祭りの中の祭り

一年を通じて様々なイベントが行なわれます。映画祭や、演劇や音楽のイベントなどに世界中のトップアーティストが訪れ、そして数えきれないほどの観客を引きつけます。このような文化行事が行われる時、サン・セバスティアンの町全体がまさに祭りそのものと化します。

“ハイネケン・ジャサルディア”国際ジャズフェスティバル

7月下旬、サン・セバスティアンの街は世界のジャズのリズムに体をゆらしませす。ジェームス・ブラウンやライザ・ミネリ、ボビー・マクファーリン、ダイアナ・クラール、カサンドラ・ウィルソン、B.B.キングなどのミュージシャンもこの町にやってきて、ビーチ、劇場、広場、ホールなどで様々な場所で観客を魅了しました。

サン・セバスティアン音楽週間

8月、サン・セバスティアン音楽週間での市民の賑わいはクラシック音楽に対するドノステイア人の嗜好を表していると言えるでしょう。国際的に名声を得ているオーケストラが老若男女を惹き付け、すぐチケット売り切れになってしまいます。

国際映画祭

ヨーロッパで最も権威のある映画祭の内のひとつで、この町の最大の文化行事といえます。祭りの中の祭りで、大物スターや若手監督などが招待され、国内外の映画が毎年9月サン・セバスティアンの国際色豊かなコンクールに集結するので



ドック・オブ・ザ・ベイ

1月に行われるドック・オブ・ザ・ベイは音楽ドキュメント映画祭で、ここからサン・セバスティアンの文化イベントカレンダーがはじまります。

デ・フェリア

その2ヵ月後、サン・セバスティアン国際演劇フェアがその後に続きます。舞台芸術の分野では必見のイベントでしょう。

人権映画祭

毎年4月に開催され、今ではドノステイアの文化行事カレンダーになくはならないものとなりました。様々な価値観の中でも、相互理解や協力、公正さ、平等といったテーマに重点をおいています。

サン・セバスティアンファッションフェスティバル

5月、そして10月にはギブスコア・ファッションウィークが開催され、服飾関係のショーウィンドウとなります。ファッションショーをはじめ、ショールーム、マスタークラス、コンファレンス、マーケット、ワークショップなどがサンテルモ・ミュージアムやバレンシアガ・ミュージアムで行われます。



クチャ・クルトゥールフェスティバル

9月、他にはないフェスティバルがあります。国際的な音楽ライブが週末にわたって行なわれ、イゲルドラクシオンパークがその素晴らしい眺望を伴った特設ステージになるのです

ファンタジー・ホラー映画祭週間

10月末から11月あたりにかけて、サン・セバスティアンの劇場やその通りはファンタジー・ホラー映画週間を開催するための即興のホラー映画の舞台となり、人々を恐怖にふるわせま

スケジュール

- ▶ 1月
1/20 サン・セバスティアンの日
www.donostiakultura.eus
ドック・オブ・ザ・ベイ 音楽ドキュメント映画祭
www.dockofthebay.es
- ▶ 2月
第一土曜 カルデロスカーニバル
www.donostiakultura.eus
ポケットシアター
www.donostiakultura.eus
- ▶ 3月
デ・フェリア / www.dferia.com
- ▶ 4月
人権映画祭
www.cineyderechoshumanos.com
- ▶ 5月
サン・セバスティアン ファッションフェスティバル
gipuzkoademoda.diariavasco.com
- ▶ 7月
ジャサルディア/ジャズフェスティバル
www.heinekenjazzaldia.com
- ▶ 8月
サン・セバスティアン音楽週間
www.quincenamusal.com
8/15を含む1週間
セマナ・グランデ 国際花火コンクール
www.donostiakultura.eus
- ▶ 9月
9月前半
バスケット祭
(エウスカル・ハイアック) 及びレガッタレース
www.donostiakultura.eus
シネマルディア/国際映画祭
www.sansebastianfestival.com
ドノステイア・クッチャ・クルトゥールフェスティバル
www.facebook.com/kutzakulturfestibala
- ▶ 10月
競走レース:15km
www.15kmsansebastian.com
サンセバスティアン美食会議
www.sansebastiangastronomika.com
ファンタジー・ホラー映画週間
www.donostiakultura.com/terror
海洋映画祭
www.ciclo.subacuaticasrealsociedad.com
サン・セバスティアンファッションフェスティバル
www.gipuzkoademoda.diariavasco.com
- ▶ 11月
ベオビア-サン・セバスティアンマラソン
www.behobia-sansebastian.com
スポーツ競技:マラソン
www.gafatletismo.com
リテラクトゥム
www.literaktum.es
- ▶ 12月
サガルド・アブルア
12/21サント・トマス祭

- monumentos

1 / Iglesia San Vicente

2 / Plaza de la Constitución

3 / Iglesia de Santa María - Museo Diocesano

4 / Jorge Oteiza Escultura "Construcción Vacía"

5 / Cementerio de los Ingleses

6 / Castillo de la Mota. Casa de la Historia

7 / Ayuntamiento

8 / Diputación Foral

9 / Teatro Victoria Eugenia

10 / Palacio de Congresos Kursaal

11 / Nestor Basterretxea Escultura "La Paloma de la Paz"

12 / Catedral Buen Pastor

13 / Palacio Miramar

14 / Funicular acceso mirador

15 / Eduardo Chillida Escultura "El Peine del Viento"

16 / Palacio de Aiete (Casa de la Paz)

17 / Basque Culinary Center edificio singular
- museos

18 / Museo San Telmo

19 / Museo Marítimo Vasco

20 / Aquarium

21 / Tabakalera. Centro Internacional de Cultura Contemporánea

22 / Real 100 Museoa (temporalmente cerrado)

23 / Museo de la Ciencia

24 / Museo Chillida Leku

25 / Museum Cemento Rezola
- parques

26 / Parque Urgull

27 / Parque Miramar

28 / Parque Cristina Enea. Centro de Recursos Medioambientales

29 / Parque de Aiete

30 / Parque de Puio

31 / Parque Miramon
- ocio

32 / "Ciudad San Sebastián". Barco Turístico (Invierno cerrado)

33 / Motoras de la isla (Invierno cerrado)

34 / Centro Talaso-Sport La Perla

35 / Luckia Casino Kursaal

36 / Koldo Mitxelena. Centro Cultural

37 / Donostia Arena 2016-Ilunbe

38 / Palacio de Hielo

39 / Ciudad Deportiva

40 / Campo de fútbol Anoeta

41 / Real Club de Tenis

42 / Monte Igeldo. Parque de Atracciones

43 / Teatro Principal

44 / Ekogunea Parque Infantil Medioambiental
- info. práctica

45 / RENFE. Estación de tren

46 / Estación de Autobuses

47 / Estación Eusko Tren (Topo)

48 / Depósito Municipal de Vehículos

49 / Oficina de Objetos Perdidos

★ Policía

T Taxi: 943 40 40 40 - 943 46 46 46

☎ 112 - Tel. emergencias

San Sebastián Turismoa

Boulevard, 8
Frantzia Pasealekua, 23
Donostia / San Sebastián
T.: +34 943 481 166
+34 607 187 462
sansebastianturismoa.eus

Donostia San Sebastián



Eskala / Escala 1:12.500



ご予約承ります

観光ツアー
美食
クルーズ
ガイド付きツアー



**Donostia
San Sebastián**

インフォメーション
および各種チケット

T (+34) 943 48 11 66
www.sansebastianturismoa.eus